

(お知らせ)



平成21年11月6日
日本原子力発電株式会社

東海第二発電所 第24回定期検査の状況について
シュラウドサポート溶接線付近のひび状の指示模様（その2）

当社、東海第二発電所（沸騰水型軽水炉、定格電気出力110万キロワット）は、9月7日から第24回定期検査を実施しておりますが、炉心シュラウド・サポートのシリンダ溶接線を水中カメラで点検していたところ、サポート部内面の縦溶接線にひび状の指示模様（7箇所）を確認しました。

（平成21年10月9日お知らせ済）

その後、点検範囲を拡大して点検した結果、新たなひび状の指示模様（10箇所）を確認しましたのでお知らせします。今後、詳細な点検を実施してまいります。

今回の点検は、第21回定期検査においてシュラウドサポート部の縦溶接線（外側3箇所）にひび*1が認められた件に係わる構造健全性評価書に基づき、点検を行ったものです。

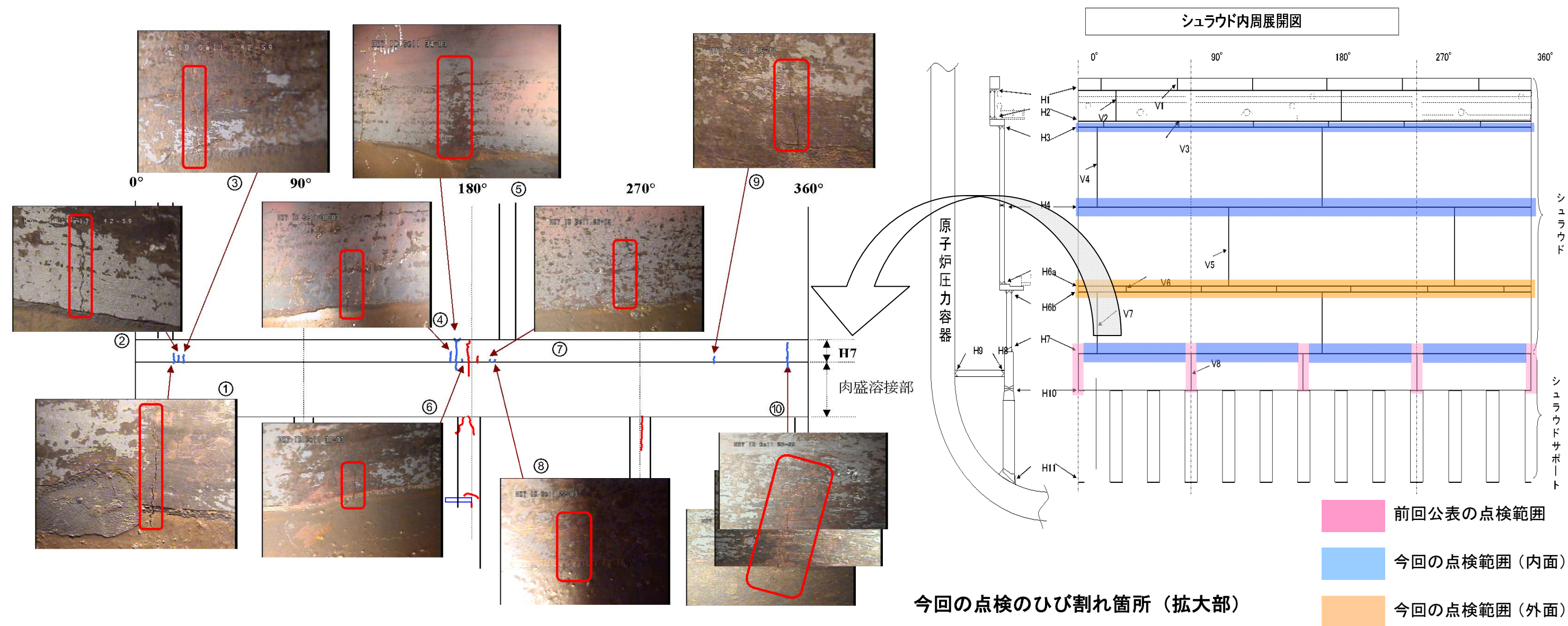
なお、外側3箇所のひびに関しては、進展はありませんでした。

*1：平成17年5月25日、平成17年7月13日 お知らせ済

以 上

添付資料：シュラウドサポート溶接線付近（内面）のひび状の指示模様状況

シュラウドサポート溶接線付近（内面）のひび状の指示模様状況



赤色ひび指示模様：前回点検時の確認箇所（10月9日公表）
青色ひび指示模様：今回点検時の確認箇所（11月6日公表）